

第 160 回 原生生物

■原生生物界に含まれる生物群を挙げ、各々の特徴を述べよ。

- ・ 原生動物：鞭毛虫類,アメーバ類,繊毛虫類,孢子虫類
- ・ 粘菌類：細胞性粘菌,変形菌
- ・ 卵菌類
- ・ 藻類：ミドリムシ類…細胞壁なし
 - 渦鞭毛藻類…縦横方向の 2 本の鞭毛で渦を巻いて進む。赤潮の原因
 - ケイ藻類…ケイ酸質の細胞壁あり
 - 褐藻類…ワカメ,コンブなど
 - 紅藻類…アサクサノリ,テングサなど
 - 緑藻類…クラミドモナス,ボルボックス,アオミドロ,マリモなど
 - シャジクモ類…藻類の中でもっとも植物に近縁

※ケイ藻～緑藻類では、世代交代がみられる（第 163 回参照）

※ミドリムシ～褐藻類は、「二次共生」によって進化してきたと考えられている

■細胞性粘菌の生活史を説明せよ。

- ・ タマホコリカビなど
- ・ アメーバ期→集合期→移動期→子実体→孢子→発芽を経てアメーバ期に戻る
- ・ 移動期には、前後の区別がみられ、細胞の分化の研究対象として注目される

■各藻類がもつ光合成色素を述べよ。

- ・ ミドリムシ類：クロロフィル a,b
- ・ 渦鞭毛藻類：クロロフィル a,b + α
- ・ ケイ藻類：クロロフィル a,c,カロテン,フコキサンチン
- ・ 褐藻類：クロロフィル a,c,カロテン,フコキサンチン
- ・ 紅藻類：クロロフィル a,カロテン,ルテイン,フィコシアニン,フィコエリトリン
- ・ 緑藻類：クロロフィル a,b,カロテン,ルテイン

※光合成色素に関しては、バラバラではなく、植物も含めてまとめて表でおぼえること（要復習第 24 回）